

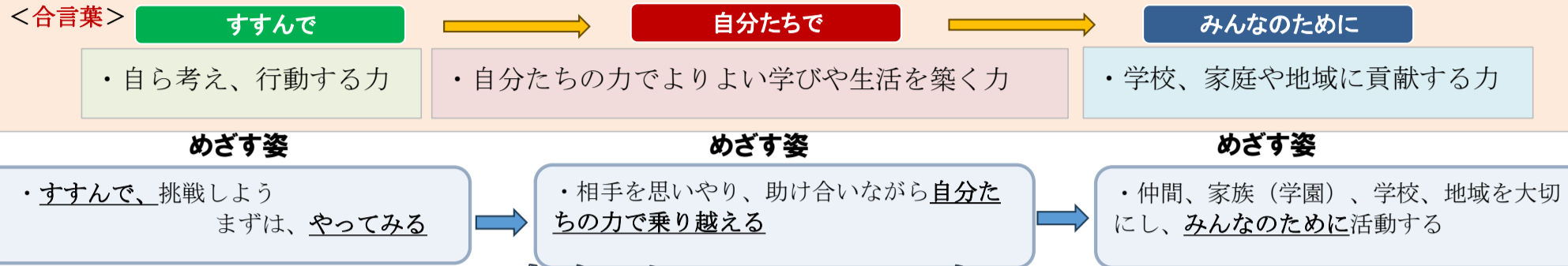
大桑小グランドデザイン2024

市の基本理念「師を仰ぐ心」を養う
 「師」とは、親・先生・先輩・地域の人々
 「子」は、人々の熱き思いに育まれていることに感謝し、
 教育は、それらの人々を導ぶ心を養う。
 (学校教育の課題解決のアプローチ)
 ・いじめ、不登校等、長年学校が抱え続ける課題解決へのアプローチ
 ・10年先から今を見た教育の役割へのアプローチ

「大桑小ならではの」教育
 ○大桑城跡、越前堀、十五社神社などの歴史教育、ふるさと教育
 ○大桑公民館等との地域連携教育

学校の教育目標
かっぱいやりぬく 大桑の子

<めざす姿> **大桑小の3つの宝** 「あいさつ」…誰にも元気で! 「話す・聞く」… 伝わる声、工夫と反応 「外遊び」…全校が仲良く



自信をつけて、次へ



めざす子どもの意識と行動(自己効力感向上)
「自己効力感の向上」
 ・大きな声であいさつができる90%
◎自分の将来の夢や目標がある90%
 ・自分の考えを頑張って発表している95%
 ・大桑小 総選挙…表彰

令和6年度 重点活動
 ★大桑の歴史(PR&学びの充実)
 ★SDG&農業等の体験
 ★表現力の強化
 ★やまがたバスケットとのコラボ

【教科・領域の学び】

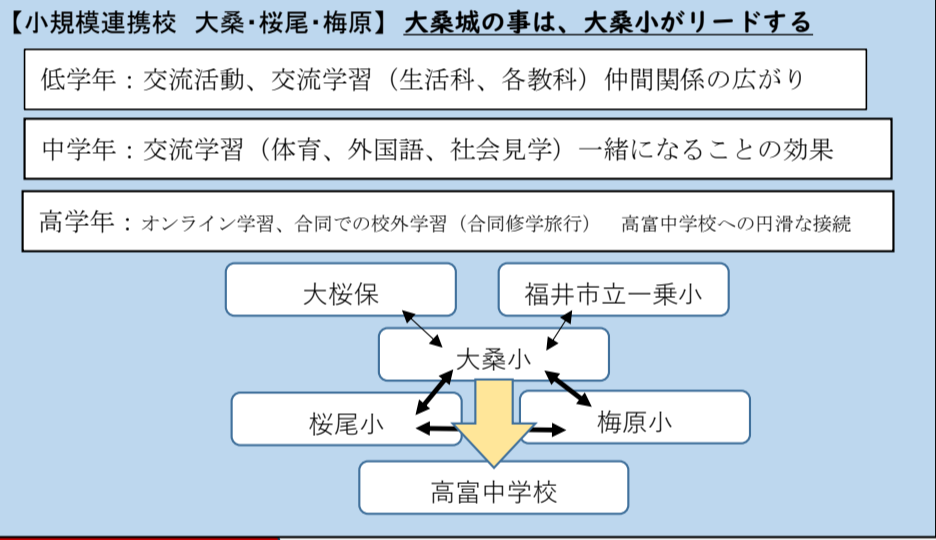
<教科>
 ・「教師が教える」から「**児童が学ぶ**」個別最適な学びへ
 ・読み、書き、計算の力の育成
 ・意見を話す場の意図的な設定
 ・**相手意識をもって伝える指導**
 ・順序立てて、説明する力の育成

< 特別の教科 道徳 >
 ・「教師が教える」から「児童が気付く」道徳指導へ
 ・**道徳の時間と日常のつながり**
 ・道徳の時間と日常生活での実践をつなげる指導
 ・児童が気付く指導

<総合的な学習の時間>
 ・「教師が与える課題」ではなく、児童が自ら考える課題の設定、探究、まとめ、発表
 ・話す、伝える力、説明する力の育成 **プレゼン力向上**
 ・**総合学習「大桑科」の実践**
 ・**自然体験&SDGs**

< 特別活動 >
 「教師の指示で」から「**児童が考えて動く特別活動へ**」
 ・縦割り班で協働する児童会活動
 ・生活をよりよくするための活動の工夫
 ・3校交流活動
 ・大桑小3つの自慢充実「あいさつ・ボランティア・表現力」

【福井市立一乗小学校との連携】
 ○交流4年目、一乗小児童が大桑小へ訪問(隔年)
 ○歴史教育(一乗谷朝倉氏と大桑土岐氏のつながりを現代に生かす。交流を通して互いに学び合う。)



【具体的な指導】
 1. 「なぜ、どうして」と自分で課題を設定し、「どうしたらよいか」と自ら考え、各教科で身に付けた見方、考え方をを用いて解決を図らせる。(自己選択→やって→確かめる)
 2. 子どものプレゼンに必要な道具の準備(ラウンドテーブル増設、ipad活用)必然性
 3. 大桑小授業過程のスタンダードの定着(教師のしゃべりすぎ注意)

【幼保小中連携】
 ・幼保の指導を引き継ぎ、実践し、中学校へつなぐ

【児童の目標「HOTな学校」あたたかさ あつさ】

- 1. 児童が願う学校像は?** 元気な学校 けんかをしない学校 いじめゼロの学校 仲のよい学校
運動ができる学校 教えあえる学校 あいさつができる学校 助け合える学校 など
- 2. なりたい自分は?** やさしい人 困っている人を助ける人 運動が好きな人など 聞き取り2024.1.10
- 3. 今の大桑小に足りないことは?** 「表現力」「さらに高みを目指す姿」

【子どもの実態】 自信が無い
 ・優しさ・誠実さが身に付いており、安心して生活することができる
 ・指示に対して素直に行動する
 ・ボランティア活動がよくできる
 ▲主体的な姿にやや弱さを感じる
 ▲元気な反応、表現力にやや弱さを感じる

【日常生活の土台 指導 及び 職員間】

- ◎**安心感のある生活** : 「きまり・約束は守る」「いじめを許さない」 学校いじめ防止対策基本方針の対応
- ・**基礎・基本の徹底** : 国語、算数を中心に、読み・書き・計算の技能の習得に向けて、徹底指導する
 - ・**美しい環境** : 「学校(教室)は、美しい環境を保つ」 掃除 後片付け 掲示物 美しい文字
 - ・**互いを尊重する関係** : 「全校の合い言葉 『すすんで』『じぶんたちで』『みんなのために』」
 - ・**職員一枚岩の関係** : 「報・連・相」「ギャガヤタイム」「お互い様」「互いを尊重する文化」
 - ・**若松学園との連携** : 「担当者との情報交流」「合同ケース会議」「協働及び指導の同一歩調」

